

今年の冬(12月~2月)の天候

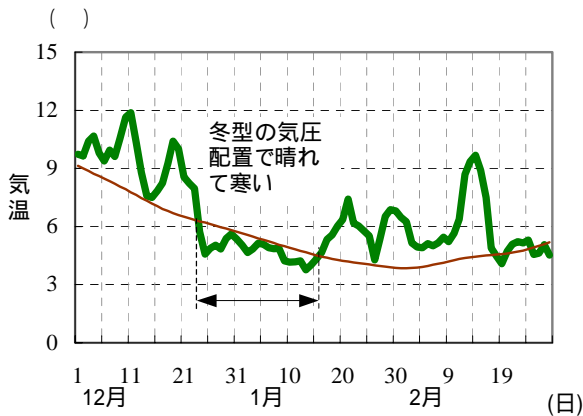
12月下旬から1月中旬にかけては冬型の気圧配置が続き、晴れて気温が低くなりました。しかし、それ以外の期間は低気圧が周期的に通過して天気は数日の周期で変わりました。さらに、南から暖かい空気が入りやすく、気温の高いときが多くなりました。また、1月下旬と2月下旬には曇りや雨の日が続くときがありました。このため、冬の平均気温は6.7と平年より1.0高くなりました。一方、降水量は190.5mmで平年の137%になり、日照時間は524.5時間で平年より少なくなりました。

冬の気象観測値(日立市役所)

項目	2009年	平年値
平均気温()	6.4	5.4
降水量(mm)	190.5	139.5
日照時間(時間)	524.5	557.9

平年値(1971~2000年の30年間の平均)

日平均気温の推移(2008年12月~2009年2月)



この冬は、最低気温が0未満になった日(冬日)が24日と、平年(36.6日)の2/3しかありませんでした。(昨年の冬日の日数は39日で、平年並みでした。)冬日の日数の10年毎の平均を見ると、1961年からと1981年からの10年間は平均日数が41日前後と平年より5日ほど多くなっていますが、それ以外の10年は35日前後とあまり変わっていません。しかし、最低気温が-3未満の日を数えてみると、1991年以降はそれ以前に比べて半分以下の3~4日に減っています。今

年の冬も、最低気温が-3よりも低くなった日は12月27日の-3.4しかなく、近年は厳しく冷え込む日が少なくなっています。

最低気温の日数(日立市役所)

年	0 未満	-3 未満
1961~1970年	40.6	9.7
1971~1980年	33.2	5.8
1981~1990年	41.8	9.4
1991~2000年	34.7	4.3
2001~2009年	34.1	3.0

数値は、12月~2月の合計の平均

また、この冬は気温の変動が大きく、最高気温が15を超える陽気の後には平年並みの寒さに戻るといったことがたびたびありました。特に2月14日は、南からの暖気に寒冷前線通過後の北西の風によるフェーン現象も加わって最高気温が23.3まで上がり、5月中旬並みの暖かさとなりました。大きな気温の変化は、体に負担を与えます。この後、4月から5月にかけては1年で気温の変動が最も大きくなる時期です、体調の管理には十分注意する必要があります。

【主な気象記録】

2月14日：最高気温 23.3

(2月の最高気温の市役所観測記録順位第3位)

12月27日：最低気温 -3.4 (この冬の最低)

日降水量 100mm 以上の日：なし

最大風速 10m/s 以上の日：12月26,30,31日、1月3,31日、2月8,16,17,19,20日

これまでの「日立の気象」に替わって、今月から「季節のたより」を1月、2月、4月、7月、10月に掲載していきます。

日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP電話 050-5528-5066 へどうぞ。